

# 第15章 機場下部工事

## 第1節 適用

### 15-1-1 適用

本章は、機場下部工事における機場本体工、燃料貯油槽工、遊水池工その他これに類する工種に適用するものとする。

なお、ポンプ及びその附属設備の製作据付工事は適用外である。

## 第2節 一般事項

### 15-2-1 適用すべき諸基準

請負者は、設計図書において特に定めのない事項について、次の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督職員に確認を求めなければならない。

- |                       |            |
|-----------------------|------------|
| (1) 土地改良事業計画設計基準 ポンプ場 | 農林水産省農村振興局 |
| (2) 杭基礎施工便覧           | (社) 日本道路協会 |
| (3) 杭基礎設計便覧           | (社) 日本道路協会 |
| (4) 鋼管矢板基礎設計施工便覧      | (社) 日本道路協会 |
| (5) 道路土工－施工指針         | (社) 日本道路協会 |
| (6) 道路土工－擁壁工指針        | (社) 日本道路協会 |
| (7) 道路土工－カルバート工指針     | (社) 日本道路協会 |
| (8) 道路土工－仮設構造物工指針     | (社) 日本道路協会 |

### 15-2-2 一般事項

1. 請負者は、河川敷地内への仮置及び仮設物設置等の一時利用に際しては、設計図書による関係法令を遵守し、施工しなければならない。
2. 請負者は、関連工事（ポンプ、附属設備の据付等）と施工上競合する部分については、施工業者相互で協議し協調し合うものとする。なお、軽微な事項は、施工業者相互の責任において処理するものとし、それ以外については監督職員と協議しなければならない。
3. 請負者は、工事着手前に精密な測量を行い、基準点及び水準点を要所に設けなければならない。また、基準点等の保全に努めなければならない。
4. 請負者は、施工の支障となる基準点及び水準点については監督職員と協議のうえ移設し、その成果を図面に示して提出しなければならない。
5. 請負者は、排水施設の設置に伴い、揚水量、地下水位、地盤の沈下等について観測記録を整理し、監督職員に提出しなければならない。
6. 輸送工  
請負者は、既製杭等の輸送に着手する前に施工計画書に輸送計画に関する事項を記載し、監督職員に提出しなければならない。

## 第3節 土工

### 15-3-1 掘削工

掘削工の施工については、第1編3-3-2掘削工の規定によるものとする。

### 15-3-2 盛土工

盛土工の施工については、第1編3-3-3盛土工の規定によるものとする。

### 15-3-3 整形仕上げ工

整形仕上げ工の施工については、第1編3-3-6整形仕上げ工の規定によるものとする。

### 15-3-4 作業残土処理工

作業残土処理工の施工については、第1編3-3-8作業残土処理工の規定によるものとする。

## 第4節 機場本体工

### 15-4-1 作業土工

1. 作業土工の施工については、第1編3-3-7作業土工の規定によるものとする。
2. 請負者は、地盤反力が設計図書に示す数値を下回る場合、その処理について監督職員と協議しなければならない。

### 15-4-2 既製杭工

既製杭工の施工については、第1編3-4-2既製杭工の規定によるものとする。

### 15-4-3 場所打杭工

場所打杭工の施工については、第1編3-4-3場所打杭工の規定によるものとする。

### 15-4-4 矢板工

矢板工の施工については、第1編3-4-7矢板工の規定によるものとする。

### 15-4-5 本体工

1. 請負者は、基礎材の敷均し、締固めに当たり、支持力が均等となり、かつ不陸が生じないように施工しなければならない。
2. 均しコンクリート及びコンクリートの施工については、第1編第3章第7節コンクリートの規定によるものとする。
3. 鉄筋の施工については、第1編第3章第9節鉄筋の規定によるものとする。
4. 型枠の施工については、第1編第3章第8節型枠及び支保の規定によるものとする。
5. 請負者は、目地材の施工位置について、設計図書によらなければならない。
6. 請負者は、設計図書に示す止水板及び伸縮材で継手を施工し、構造上変位が生じても水密性が確保できるよう施工しなければならない。

### 15-4-6 燃料貯油槽工

1. 請負者は、基礎材の敷均し、締固めに当たり、支持力が均等となり、かつ不陸が生じないように施工しなければならない。
2. 均しコンクリート及びコンクリートの施工については、第1編第3章第7節コンクリートの規定によるものとする。
3. 鉄筋の施工については、第1編第3章第9節鉄筋の規定によるものとする。
4. 型枠の施工については、第1編第3章第8節型枠及び支保の規定によるものとする。
5. 請負者は、防水モルタルの施工に当たり、設計図書に基づき燃料貯油槽に外部から雨水等が進入しないよう施工しなければならない。
6. 請負者は、充填砂を施工する場合、タンクと燃料貯油槽の間に充填砂が十分行き渡るよう

施工しなければならない。なお、充填砂は、特に指定のない場合、乾燥した砂でなければならない。

7. 請負者は、アンカーボルトの施工に当たり、アンカーボルトが、コンクリートの打込みにより移動することがないように設置しなければならない。
8. 請負者は、目地材の施工位置について、設計図書によらなければならない。
9. 請負者は、コンクリート打設に際し、施設機械設備据付、各種配線等、二次コンクリート打設の箱扱及びアンカー金具埋設位置等について、工事着手前に関係者と協議のうえ施工しなければならない。

## 第5節 遊水池工

### 15-5-1 作業土工

作業土工の施工については、第1編3-3-7作業土工の規定によるものとする。

### 15-5-2 既製杭工

既製杭工の施工については、第1編3-4-2既製杭工の規定によるものとする。

### 15-5-3 場所打杭工

場所打杭工の施工については、第1編3-4-3場所打杭工の規定によるものとする。

### 15-5-4 矢板工

矢板工の施工については、第1編3-4-7矢板工の規定によるものとする。

### 15-5-5 側壁工

側壁工の施工については、本章15-4-5本体工の規定によるものとする。

### 15-5-6 コンクリート床板工

1. 均しコンクリート及びコンクリートの施工については、第1編第3章第7節コンクリートの規定によるものとする。
2. 鉄筋の施工については、第1編第3章第9節鉄筋の規定によるものとする。
3. 型枠の施工については、第1編第3章第8節型枠及び支保の規定によるものとする。

### 15-5-7 現場打水路工

現場打水路工の施工については、第2編5-6-2現場打ち開渠工の規定によるものとする。

### 15-5-8 関連工事との調整

請負者は、関連工事（ポンプ、電気設備、除塵設備、その他附属設備の据付等）の施工上競合する部分については、施工業者相互で協議し調整を図らなければならない。また、工程については協議した結果に基づき、総合工事工程を作成し、監督職員に提出しなければならない。

### 15-5-9 地区外水面への配慮

請負者は、工事施工にあたり、コンクリート打設を伴う工事、及び掘削等により河川水や海水を汚濁する恐れがある工事については、工事着手前に漁業者等関係機関との調整を図らなければならない。

また、その対策内容については、事前に監督職員の承諾を受けなければならない。

## 第6節 上屋建築工

### 15-6-1 上屋建築工

設計図書に明示ないものは、国土交通省の「建築工事共通仕様書」に準ずる。